

**報告事項**

**(4) アンケート調査結果の分析について**

**① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査**

## ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 介護予防・日常圏域ニーズ調査の実施概要

	圏域名	1号被保険者	調査対象				調査人数				回収状況				回収率
			一般	事業対象者	要支援者	総数	一般	事業対象者	要支援者	総数	回収数				
											一般	事業対象者	要支援者	総数	
1	北部・中部	5,956	4,555	130	372	5,057	149	18	18	185	104	13	8	125	67.6%
2	若宮・城東・中川	5,973	4,556	155	354	5,065	149	18	18	185	102	11	13	126	68.1%
3	文京・南部	6,378	5,121	116	333	5,570	158	20	20	198	113	10	12	135	68.2%
4	上川淵・下川淵	10,505	8,643	125	494	9,262	262	32	32	326	185	24	24	233	71.5%
5	芳賀	3,244	2,683	72	97	2,852	81	10	10	101	57	8	6	71	70.3%
6	桂萱	8,252	6,686	102	384	7,172	204	26	26	256	145	22	18	185	72.3%
7	東	7,695	6,294	170	331	6,795	190	24	24	238	146	21	16	183	76.9%
8	元総社・総社・清里	8,631	7,027	147	369	7,543	214	27	27	268	149	21	18	188	70.1%
9	南橘	10,546	8,636	187	427	9,250	261	33	33	327	183	23	21	227	69.4%
10	永明(下増田含む)	6,824	5,614	193	264	6,071	172	25	21	218	135	17	15	167	76.6%
11	城南(下増田除く)	5,430	4,460	60	233	4,753	131	13	17	161	86	10	15	111	68.9%
12	大胡	4,809	3,966	56	181	4,203	119	15	15	149	83	11	8	102	68.5%
13	宮城	2,538	2,092	26	78	2,196	63	8	8	79	44	6	5	55	69.6%
14	粕川	3,461	2,858	27	111	2,996	85	11	11	107	67	8	9	84	78.5%
15	富士見	6,514	5,498	120	197	5,815	162	20	20	202	106	11	9	126	62.4%
合計		96,756	78,689	1,686	4,225	84,600	2,400	300	300	3,000	1,705	216	197	2,118	

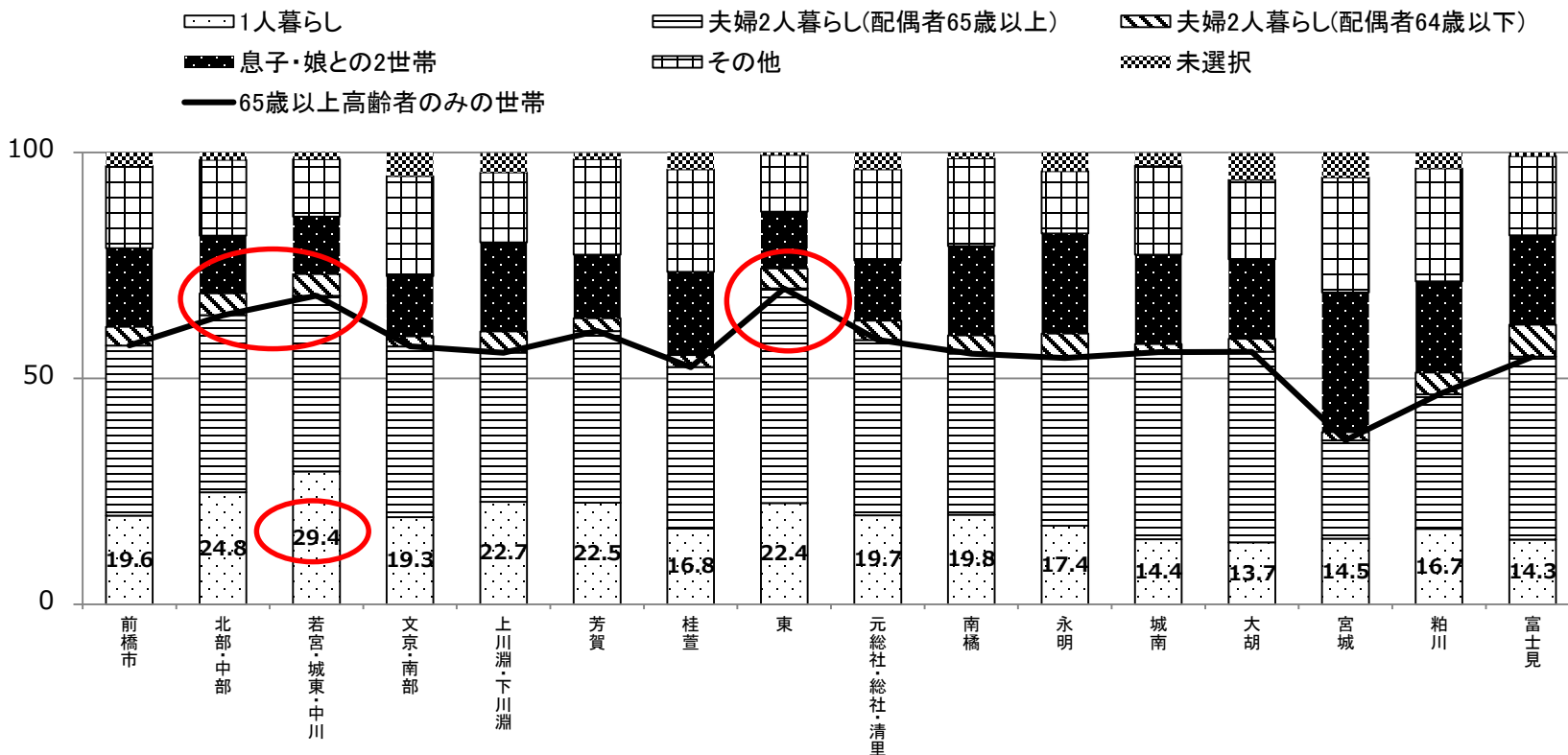
- ・事業対象者:基本チェックリストで生活機能の低下が認められた人
- ・要支援者:要支援1・2と認定された人
- ・第4回高齢者福祉専門分科会以降、回収した調査票を追加
- ・第8期計画より下増田町が永明圏域に変更となるため、永明圏域として集計

# 家族や生活状況について

## ■ 家族構成

- 前橋市全体で65歳以上だけの世帯は半数を超える。
- 「若宮・城東・中川」は、1人暮らし高齢者の割合が高い。
- 「東」は、「若宮・城東・中川」と同程度割合で高齢者のみの世帯割合が高い。

■ 家族構成 (%)

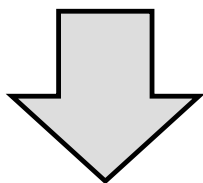


# ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

## 家族や生活状況について

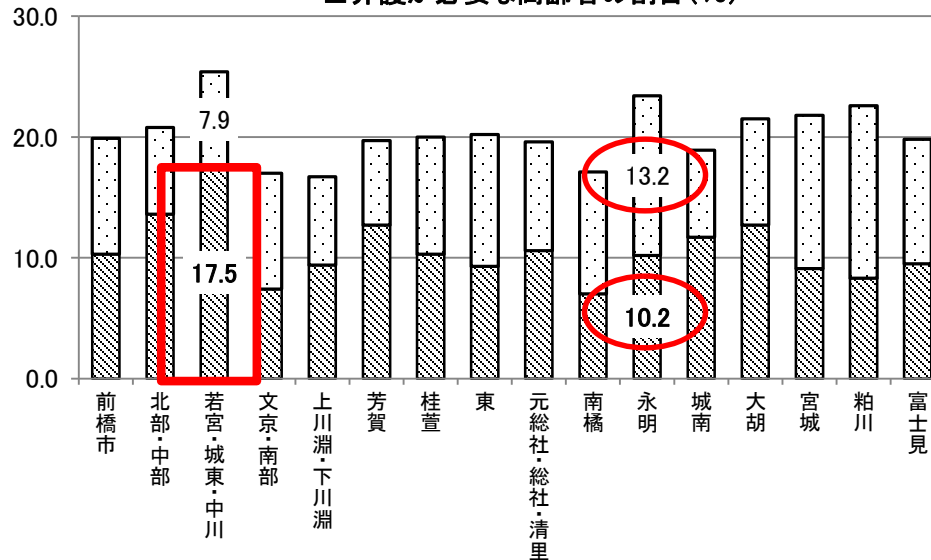
### ■ 介護・介助の必要性

- 「永明」は、介護が必要な人は多いが、その半数は、何らかの介護を受けている。
- 「若宮・城東・中川」は、介護が必要な人の割合が多いことに加え、介護が必要だが現在受けていない人の割合が突出して多い。
- 「若宮・城東・中川」は、「何らかの介護・介助が必要だが、現在受けていない」と回答した者のうち、一般高齢者・事業対象者の割合が、市全体の平均より高い。



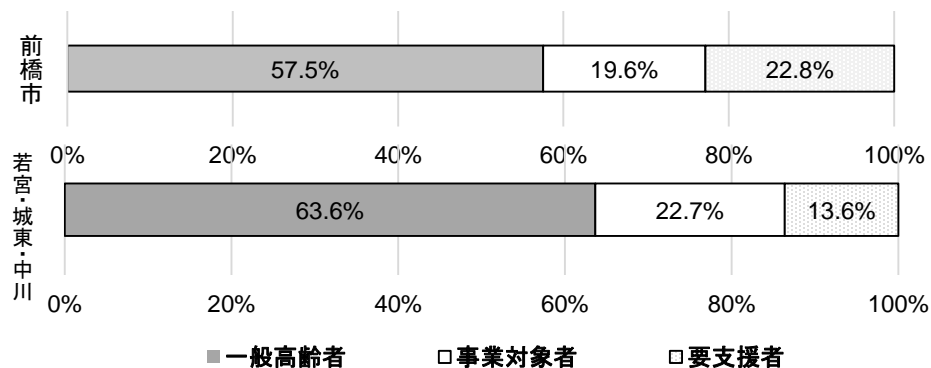
介護が必要だが現在は受けていない高齢者の割合は、1人暮らしである等の家族構成が影響していると想定される。

■ 介護が必要な高齢者の割合 (%)



□何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない □現在、何らかの介護を受けている

■ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない割合 (%)

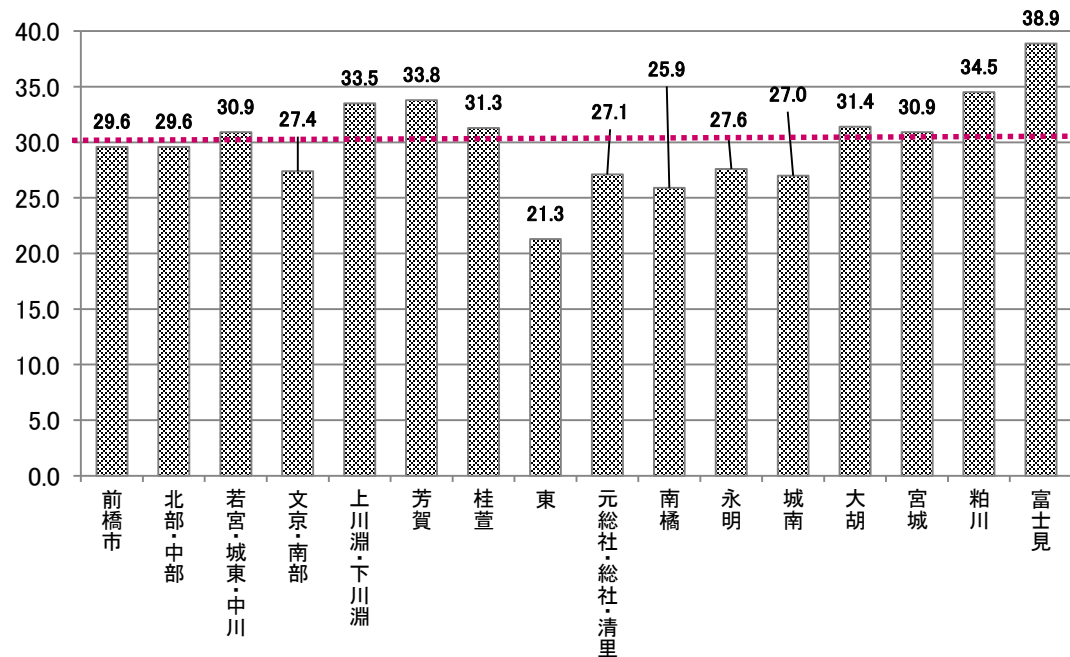
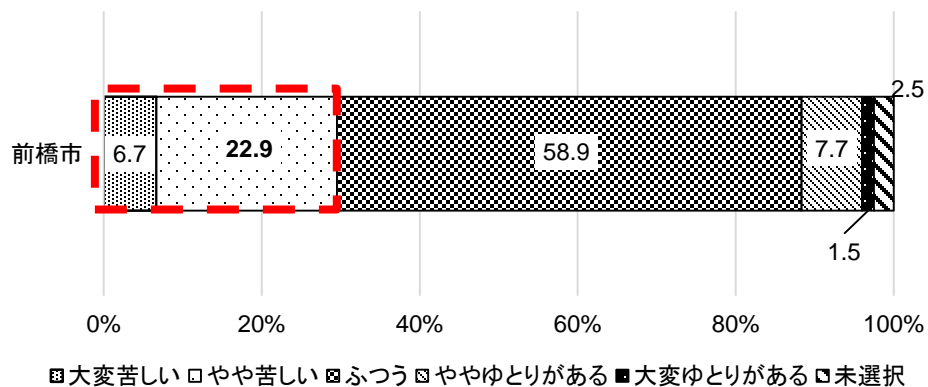


## 家族や生活状況について

### ■ 経済的な暮らしの状況

- 全体の30%弱の方は、現在の暮らしが苦しいと感じている。
- 「富士見」は、現在の暮らしが苦しいと感じている人の割合が多い。
- 「東」は、暮らしが苦しいと感じている人の割合は少ない。

■現在の暮らしが苦しいと感じる高齢者の割合(%)

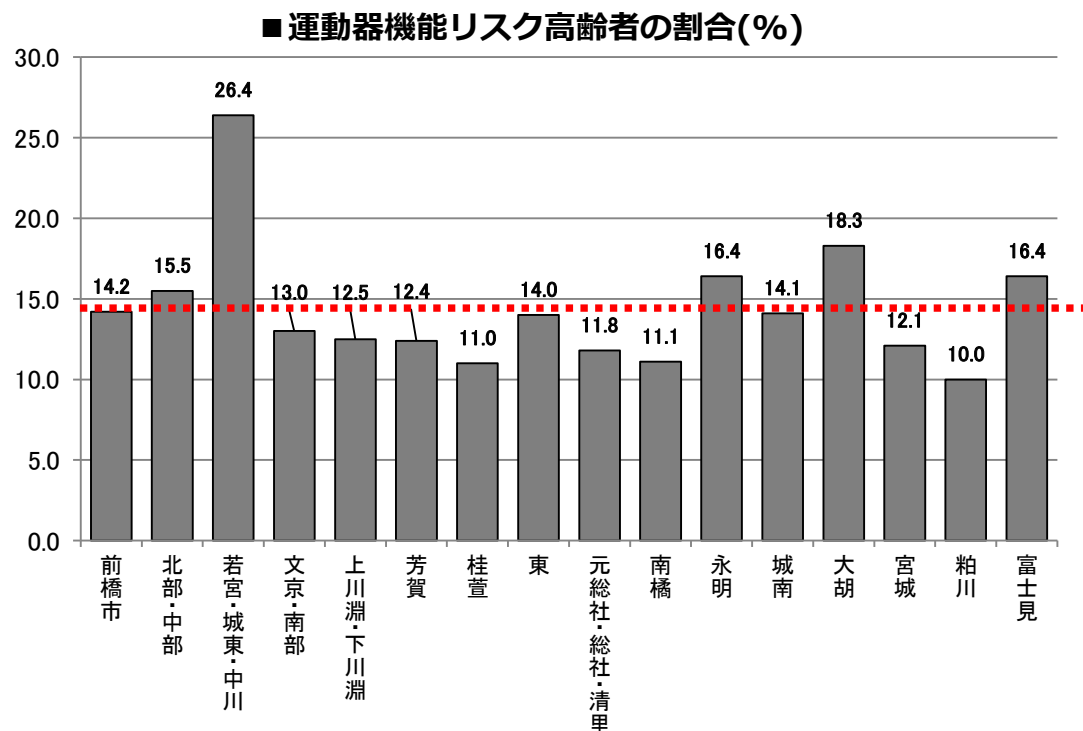


## ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

# 体を動かすことについて

### ■運動器機能

- 前橋市全体の15%近くの方は、運動器機能が低下してきている。
- 「若宮、城東、中川」は、運動器機能リスクを抱えている方が多い。
- 歩く速度は、一般高齢者であっても半数以上は、遅くなったと感じている。



### <運動器機能リスク高齢者の定義>

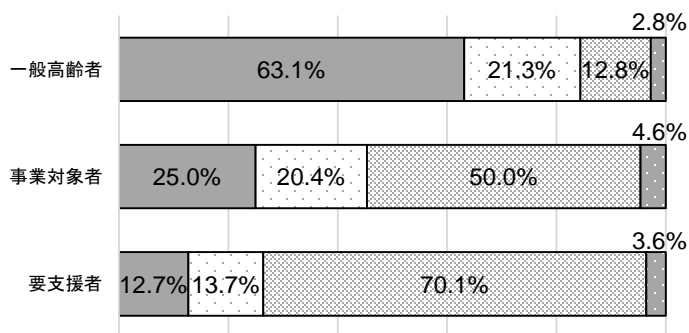
※6ページの設問の1から5において、以下の項目を3つ以上選択した者

- 1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか  
「3.できない」
- 2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか  
「3.できない」
- 3 15分位続けて歩いていますか  
「3.できない」
- 4 過去1年間に転んだ経験がありますか  
「1.何度もある」or「2. 1度ある」
- 5 転倒に対する不安は大きいですか  
「1.とても不安である」or「2.やや不安である」

# ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

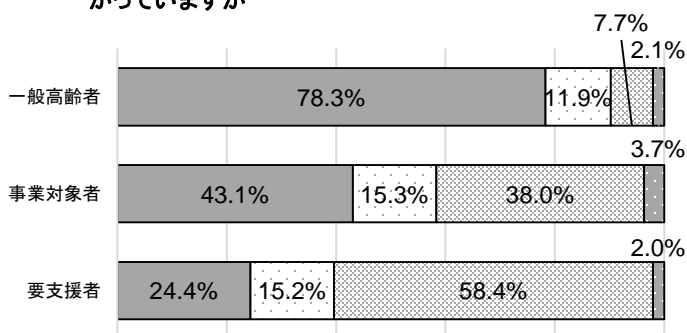
## 体を動かすことについて

1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか



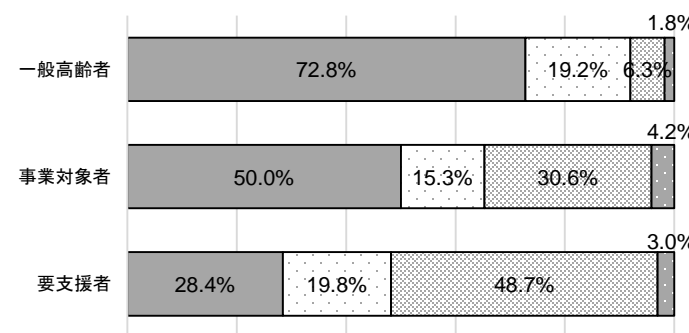
□できるし、している □できるけどしていない □できない □未回答

2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか



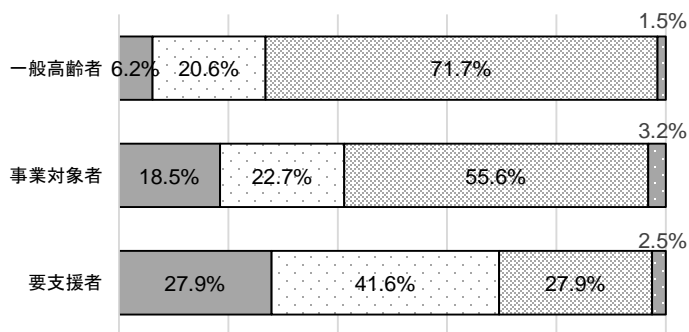
□できるし、している □できるけどしていない □できない □未回答

3 15分位続けて歩いていますか



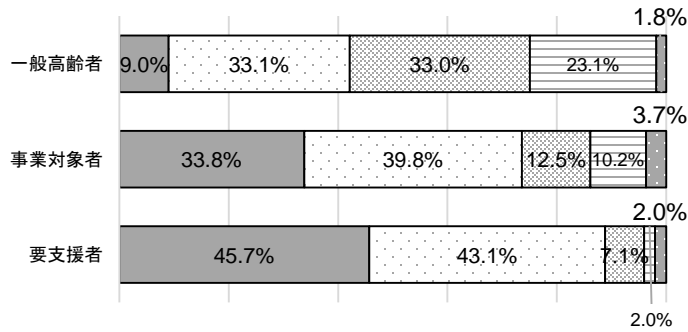
□できるし、している □できるけどしていない □できない □未回答

4 過去1年間に転んだ経験がありますか



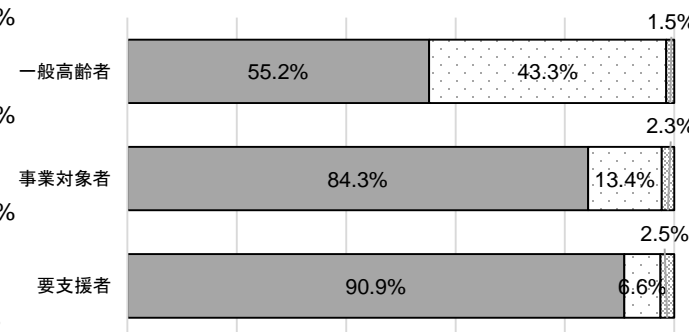
□何度ある □1度ある □ない □未回答

5 転倒に対する不安は大きいですか



□とても不安である □やや不安である □あまり不安でない □不安でない □未回答

■以前と比べて歩く速度が遅くなったとおもいますか



□はい □いいえ □未回答

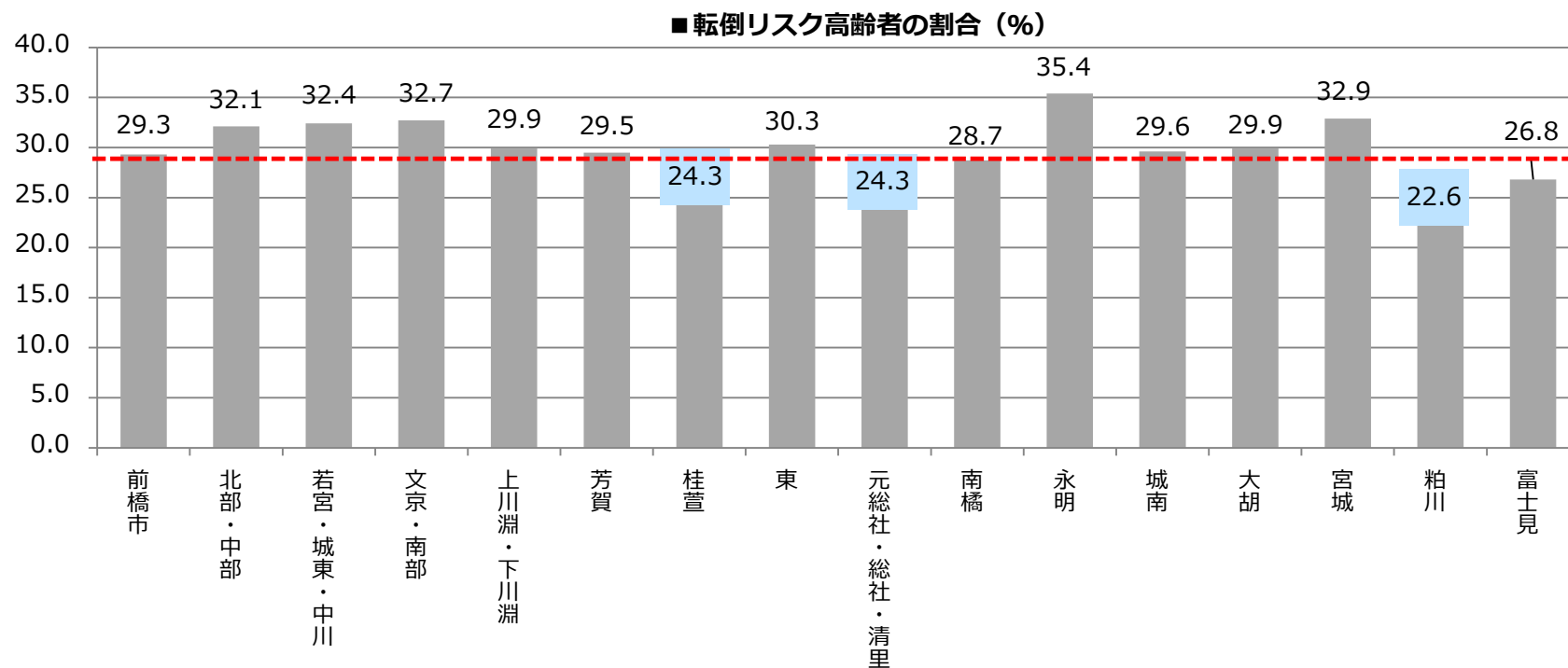
## ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 体を動かすことについて

#### ■ 転倒リスク高齢者について

(過去1年間に転んだ経験がありますかの設問に、「1. 何度もある」「2. 1度ある」に該当した者の割合)

- 前橋市全体で30%弱の方が転倒リスクが高い。
- 「桂萱」「元総社・総社」「清里」「粕川」のみ、25%を下回るが、どの圏域も30%前後の方が、転倒リスクが高い。





# ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

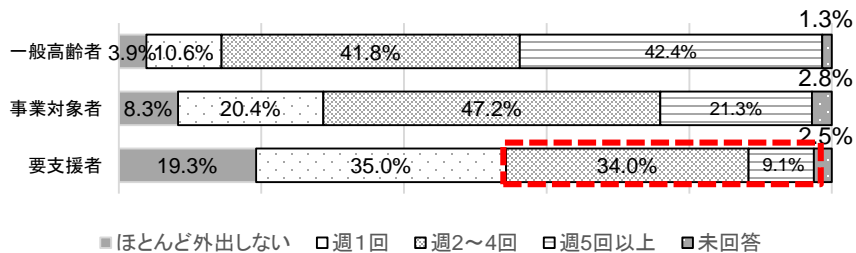
## 体を動かすことについて

### ■外出について

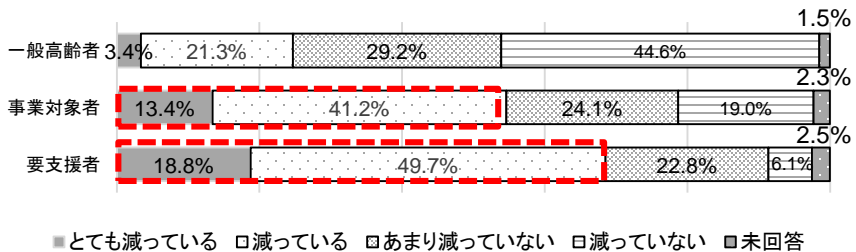
- 要支援者の20%弱がほとんど外出しない一方、40%以上は週2回以上外出している。
- 昨年と比べての外出の回数が減っている割合は、一般高齢者は25%弱であるが、事業対象者は50%強、要支援者であれば70%弱である。
- 閉じこもりリスクは、「文京・南部」「大胡」「粕川」については他の圏域に比べて低く、「文京・南部」と「大胡」については、他の圏域と比較し、外出の回数が減っている理由で「交通手段がない」と回答した割合が低く、また「粕川」は、「出かけた場所がない」と回答した割合が低い。

➡ 外出回数の減少は、身体的な理由も大きいですが、居住地区の交通事情や通いの場等の環境も影響があると想定される。

■週に1回以上は外出していますか

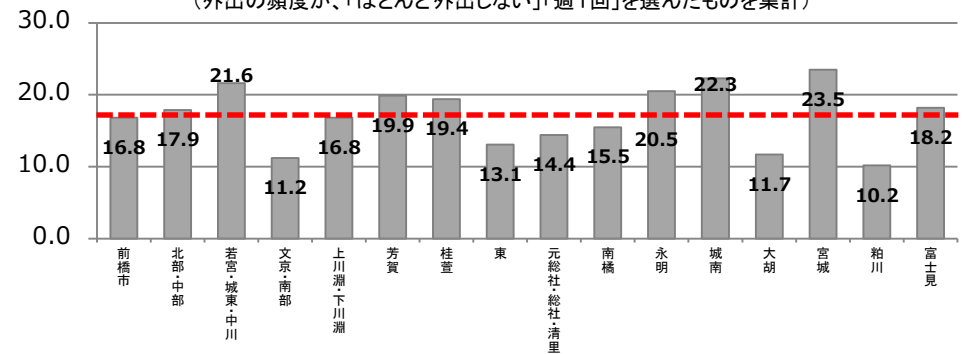


■昨年と比べて外出の回数が減っていますか

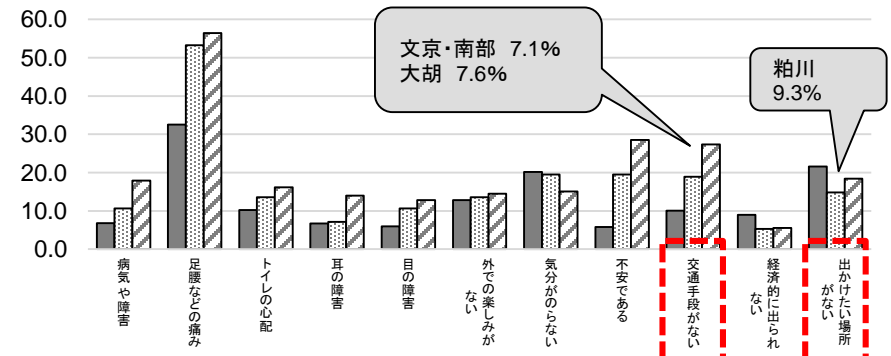


閉じこもりリスク高齢者の割合

(外出の頻度が、「ほとんど外出しない」「週1回」を選んだものを集計)



■外出の回数が減っている理由



# ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

## 食べることについて

### ●栄養改善

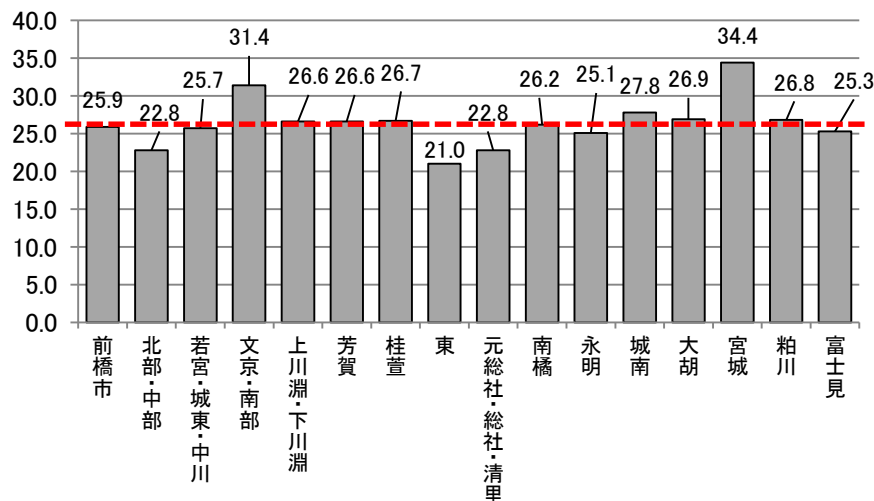
- 「文京・南部」「上川淵・下川淵」は、BMIが18.5未満の割合が低いので、低栄養のリスクが低い。

### ●咀嚼機能

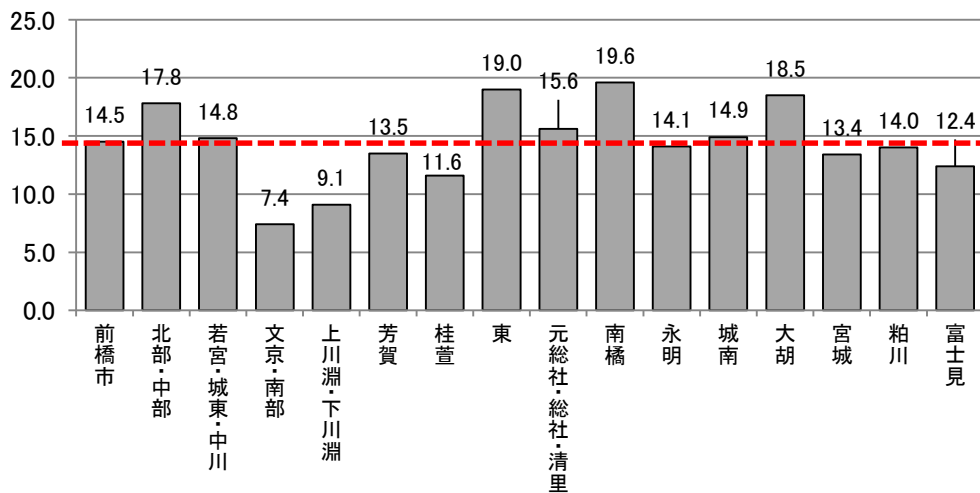
- 半年前と比べて固いものが食べにくい高齢者は、市全体で25.9%である。
- 自分の歯が20本以上ない方の割合が、「宮城」「富士見」は高く、「宮城」は半年前と比べて固いものが食べにくい高齢者の割合も高い。

➡ 低栄養リスクと咀嚼機能リスクは、必ずしも相関関係にない。

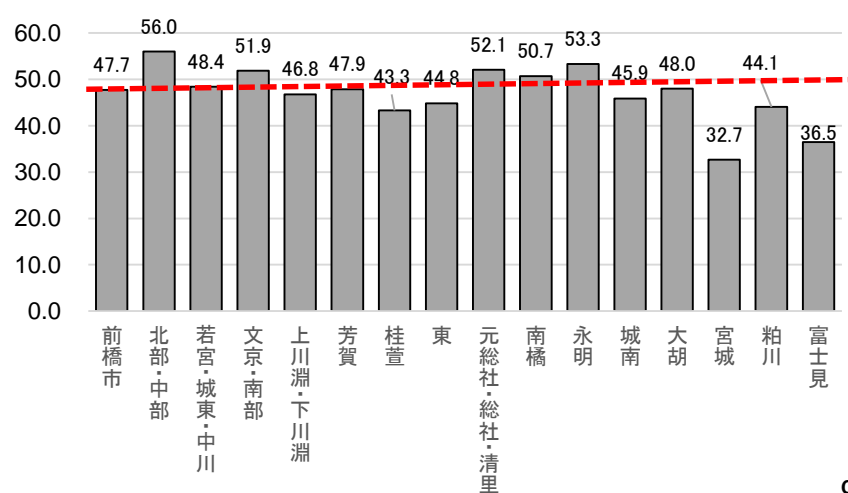
■半年前と比べて固いものが食べにくい高齢者の割合(%)



■栄養改善リスク高齢者の割合(%)



■自分の歯が20本以上の方の割合(%)



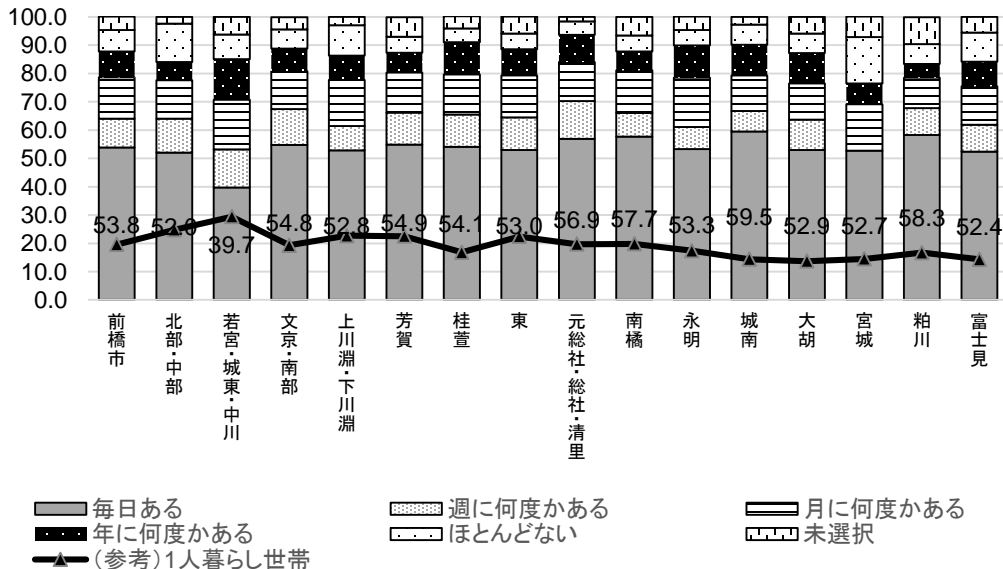
BMI<18.5に該当する場合は、栄養改善リスク高齢者として定義  
 ※BMI(体重(kg) ÷ {身長(m) X 身長(m)})

# ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

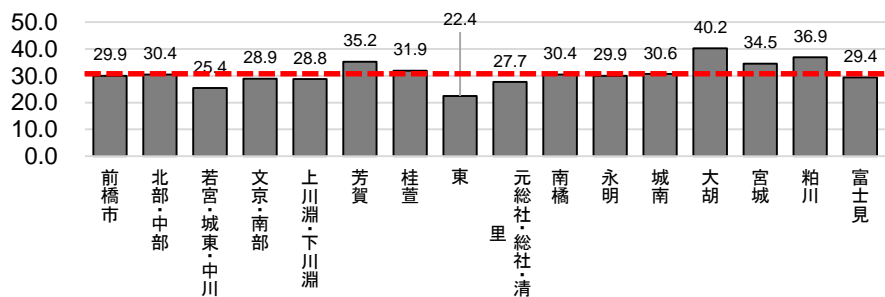
## 食べるについて

- 「若宮・城東・中川」は、どなたかと食事をとる機会が「毎日ある」を選択する割合が他の地域に比べて低いが、1人暮らし世帯が多いと思われる。
- 「東」は、お茶や汁物等でむせる割合が低い。咀嚼機能リスクが低いので、よく噛めて舌の動きも良いため、飲み込む力が保たれていると想定される。
- 「文京・南部」は、口の渇きが気になる割合が高いが、咀嚼機能リスクが高いため、余り噛まなくなり、唾液の分泌が良くないことが関係していると想定される。
- どの地区も約30~40%の方が習慣的にお酒を飲んでいる。

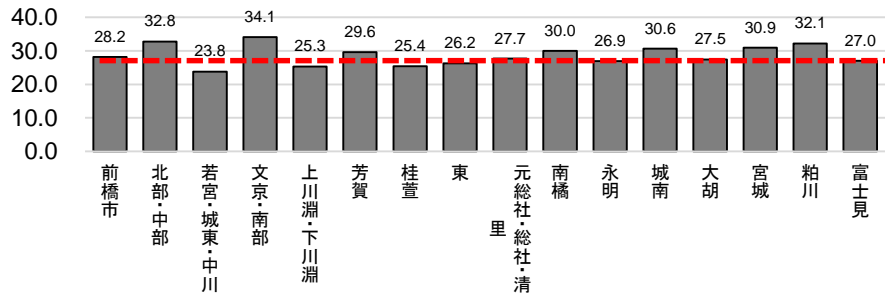
■どなたかと食事をとる機会がある割合(%)



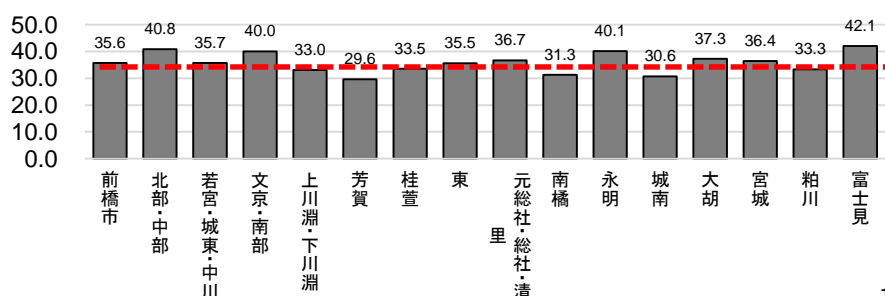
■お茶や汁物等でむせることがある割合(%)



■口の渇きが気になる割合(%)

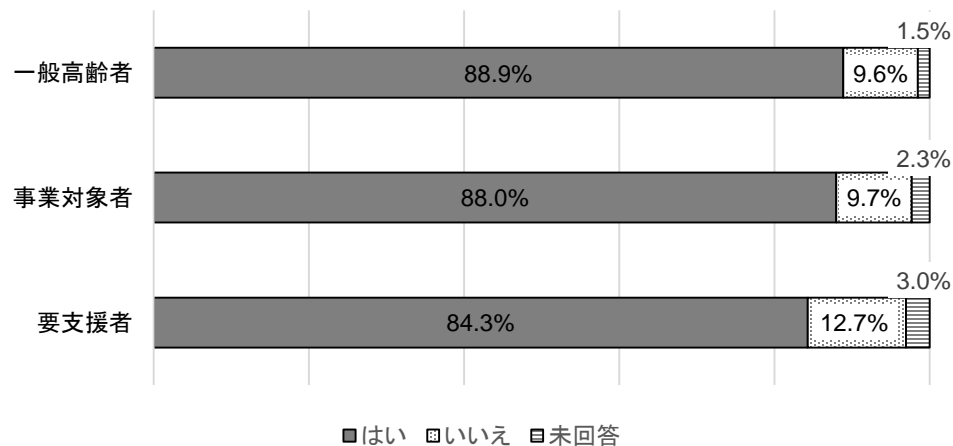


■お酒を飲む割合(%) (ほぼ毎日飲む人+時々飲む人)



## 食べることについて

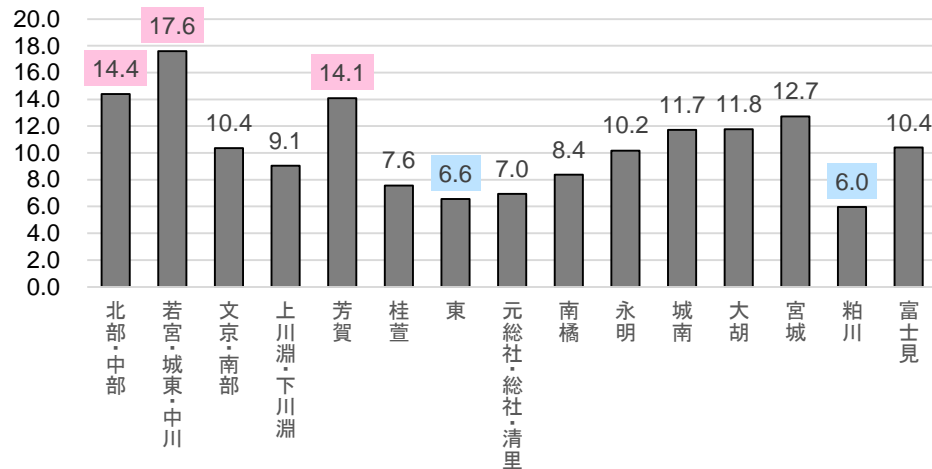
■1日3食きちんと食べていますか



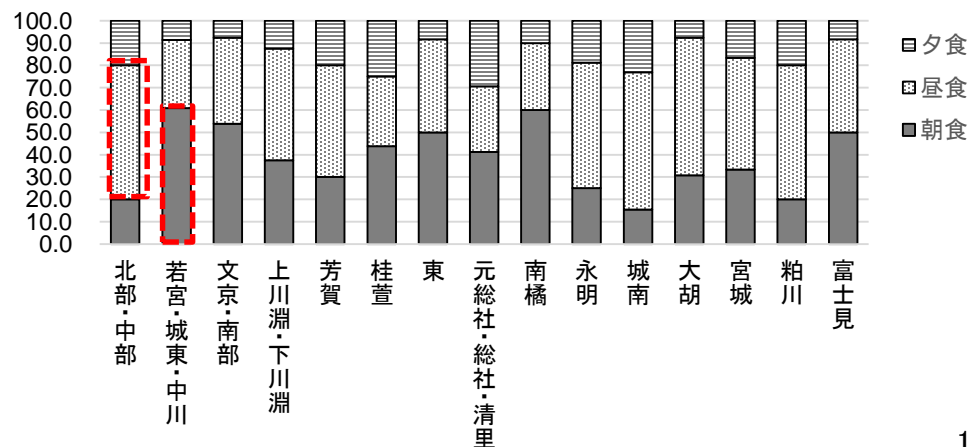
■はい □いいえ ▨未回答

- 食事の習慣は、一般高齢者・事業対象者・要支援者と大きな差はない。
- 1人暮らしの多い「若宮・城東・中川」は、「いいえ」と答えた人の割合が1番高く、朝食を食べない人が多い。
- 「北部・中部」は、「いいえ」と答えた人の割合が多く、昼食を食べない人が多い。
- 「粕川」は3食きちんと食べている人の割合が多いが、子の世帯との同居の割合が高いことの影響が考えられる。
- 「東」は、65歳以上の高齢者のみ世帯が多い地域ではあるが、咀嚼機能リスクが低いため、3食きちんと食べている人の割合が高いと想定される。

■1日3食きちんと食べていますか  
「いいえ」と答えた割合 (%)



■「いいえ」と答えた人の  
食べない食事(いくつでも)の割合 (%)

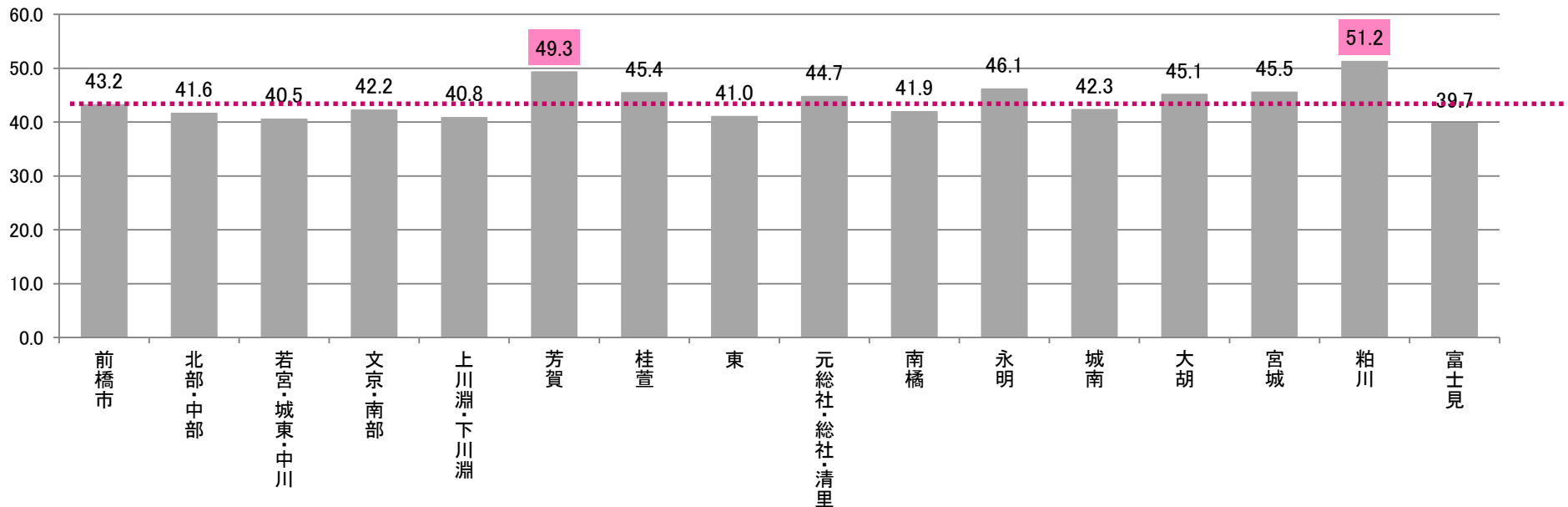


## 毎日の生活について

### ■ 認知機能の低下

- 前橋市全体の4割の人は、物忘れが多いと感じている。
- 「大胡」「粕川」は、12～13ページの項目のうち、4項目において前橋市全体の平均より高く、また、項目によっては他の圏域との差も大きいため、認知機能リスクが高いことが想定される。

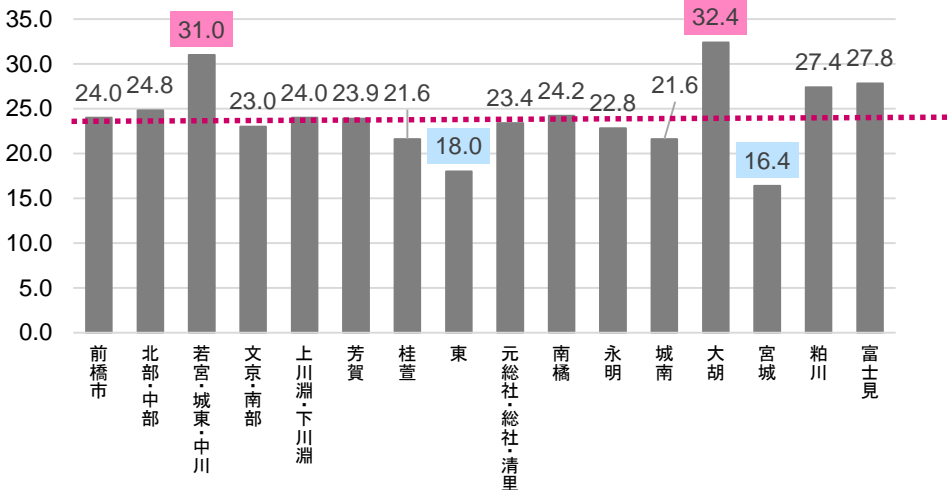
■物忘れが多いと感じる人の割合(%)



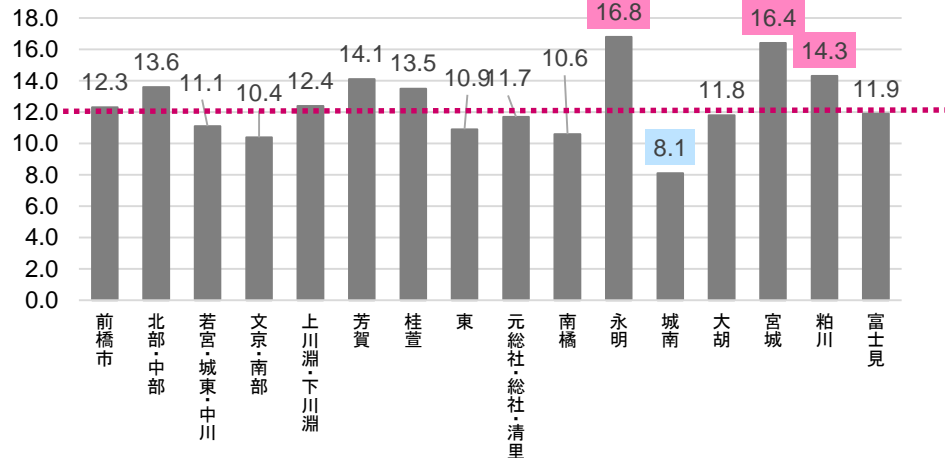
# ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

## 毎日の生活について

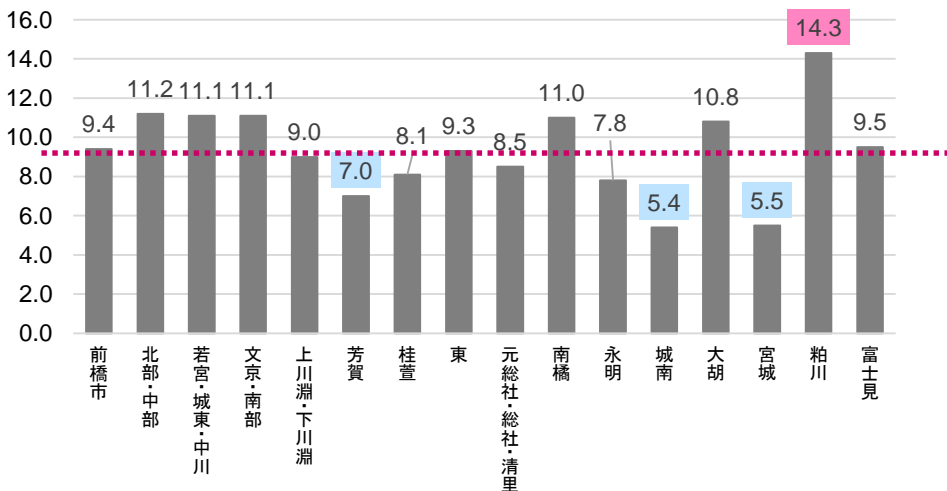
■今日が何月何日かわからない人の割合(%)



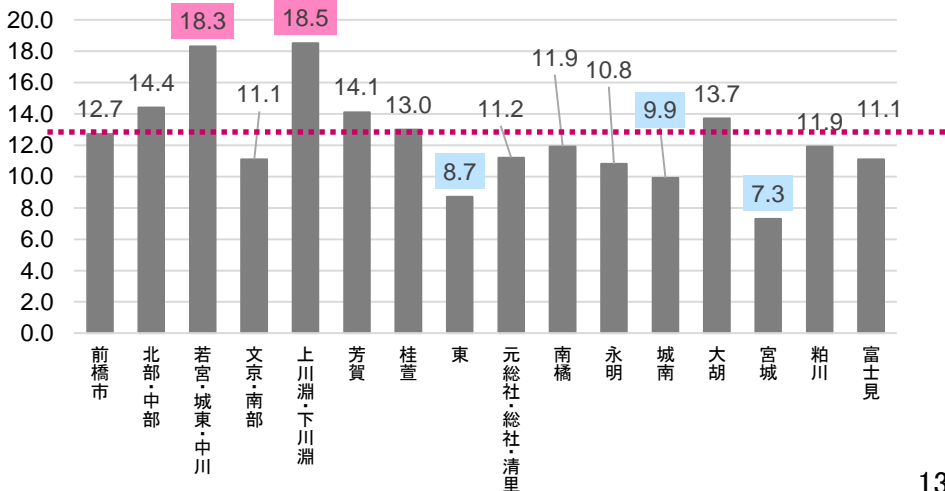
■周りの人から「いつも同じことを聞く」などのもの忘れがあるとされる人の割合(%)



■5分前のことを思い出せない割合(%)



■自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていない割合(%)

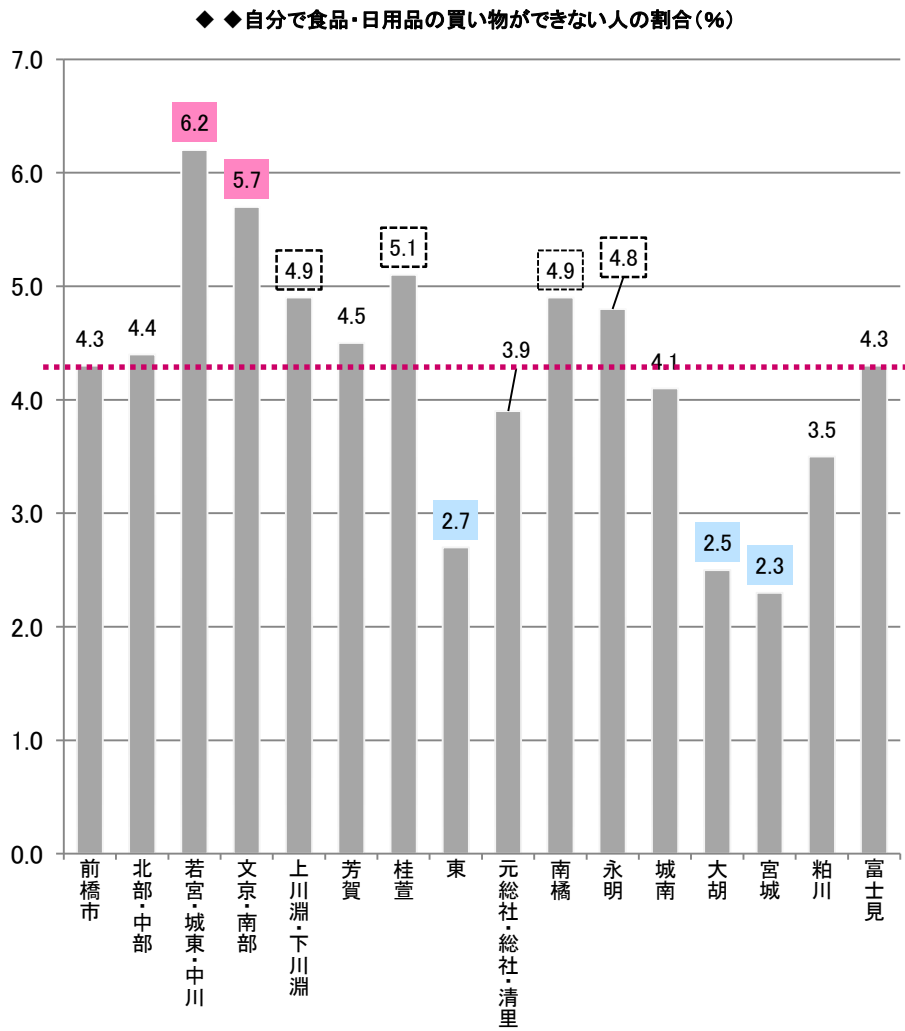
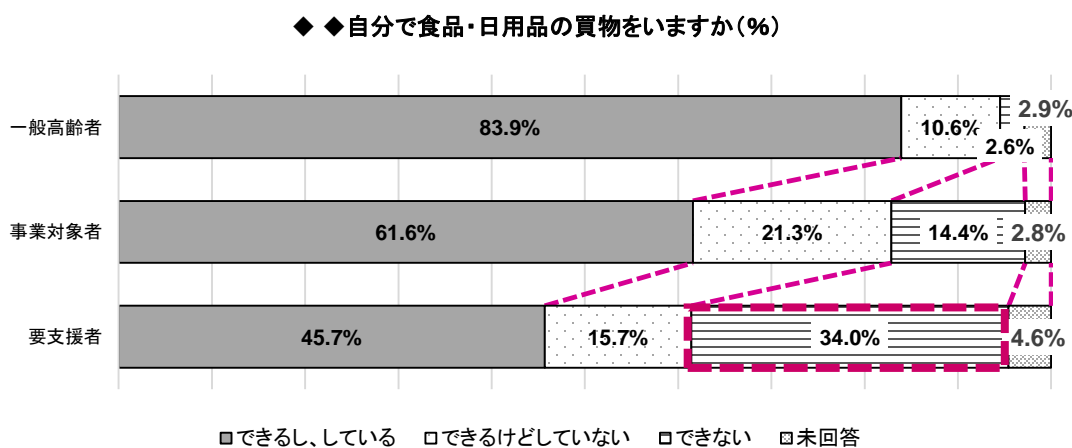


# ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

## 毎日の生活について

### ■ 買い物について

- 要支援者のおよそ3人に1人は、自分で買い物ができない。
- 「若宮・城東・中川」「文京・南部」は、自分で日用品の買い物ができない人の割合が高く、特に「若宮・城東・中川」は、1人暮らし世帯や高齢者のみの世帯割合が高い地区であるため、非常に困っている状態であると想定される。
- 「上川淵・下川淵」「桂萱」「南橋」「永明」は、比較的買い物ができない人の割合は高いが、子との2世帯が比較的多い地域であるため、現状では生活に困っていない方も多いと想定される。
- 「東」「大胡」「宮城」は、買い物ができない割合が低い。

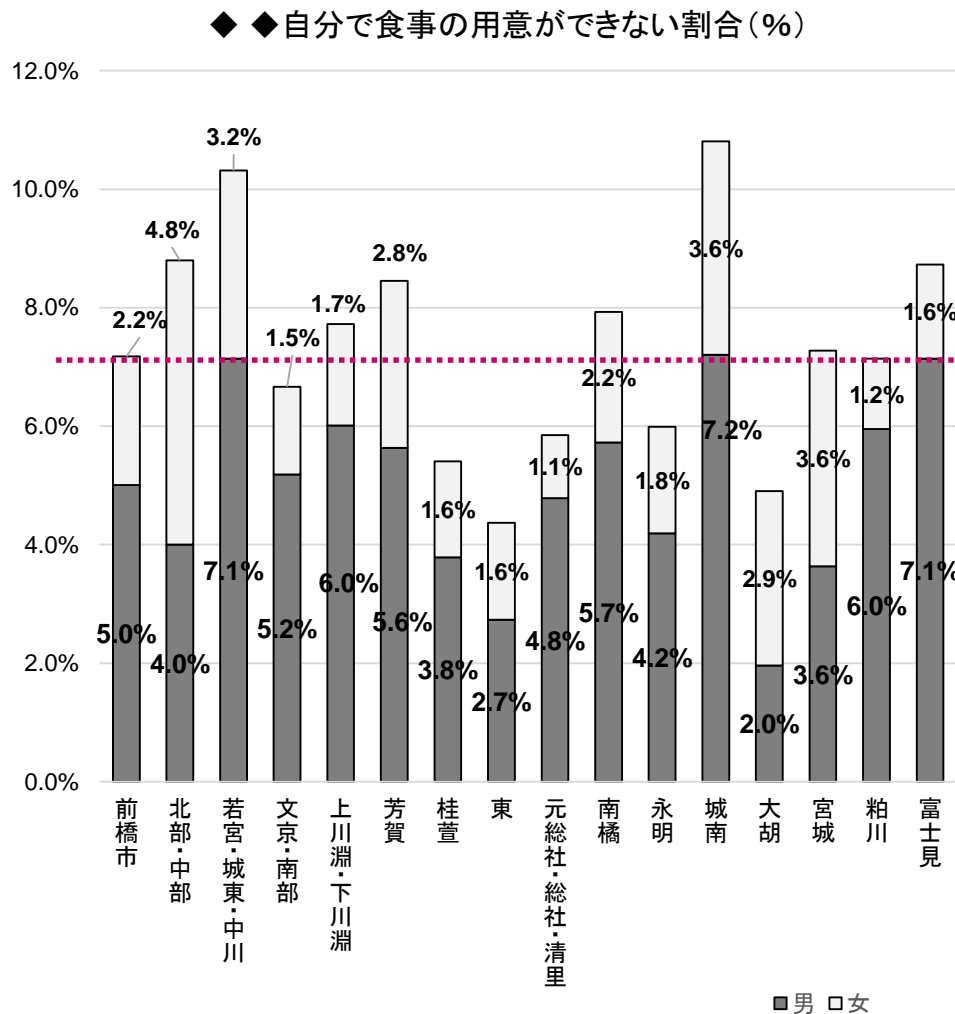
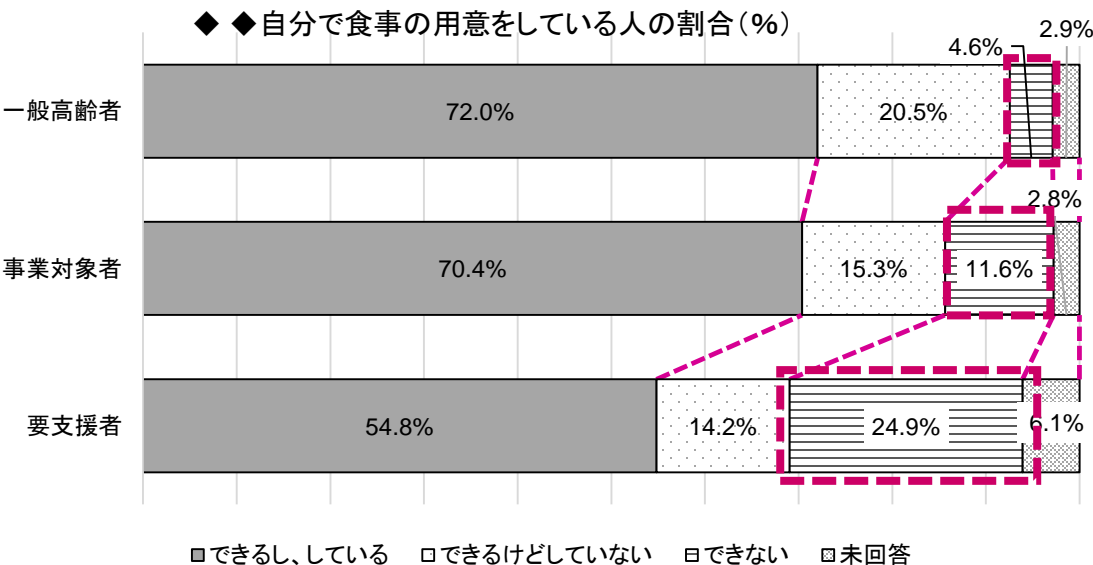


# ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

## 毎日の生活について

### ■ 食事の用意について

- 市全域の7.2%の方は、自分で食事の用意ができない。
- 要支援のおよそ4人に1人は、自分で食事の用意ができない。
- ほとんどの圏域で、男性の方が用意ができない割合が高いが、「北部・中部」「大胡」のみ女性の割合が高い。
- 「北部・中部」「若宮・城東・中川」「上川淵・下川淵」「芳賀」「南橋」「城南」「富士見」は、割合が高い。そのうち、「上川淵・下川淵」「南橋」「城南」「富士見」は、2世帯の割合が市平均より高いため、現状困っている世帯は少ないと想定される。また、「若宮・城東・中川」は、買い物ができない割合も高いため、特に配食のニーズが高いと想定される。





# ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

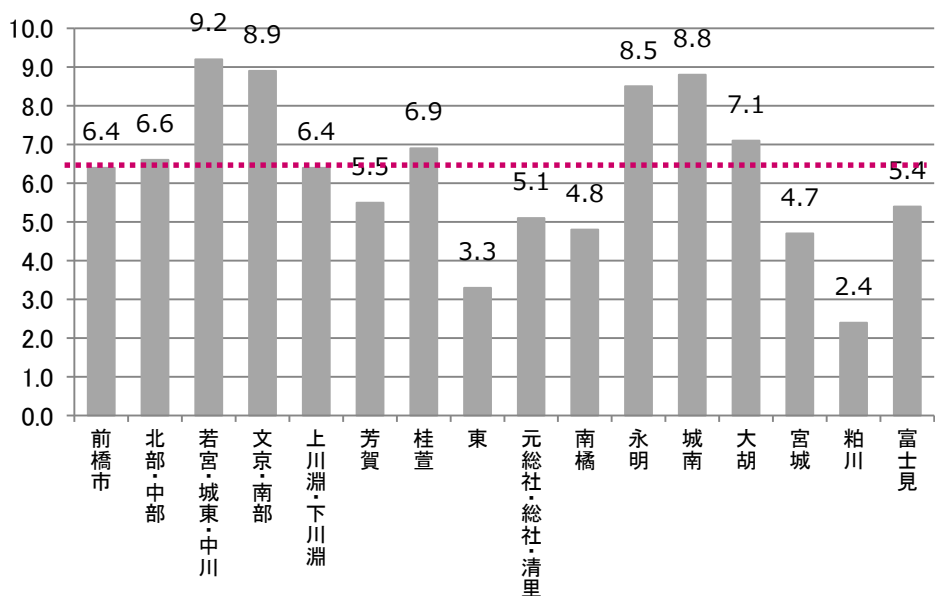
## 毎日の生活について

### ■ IADL(手段的日常生活動作能力)

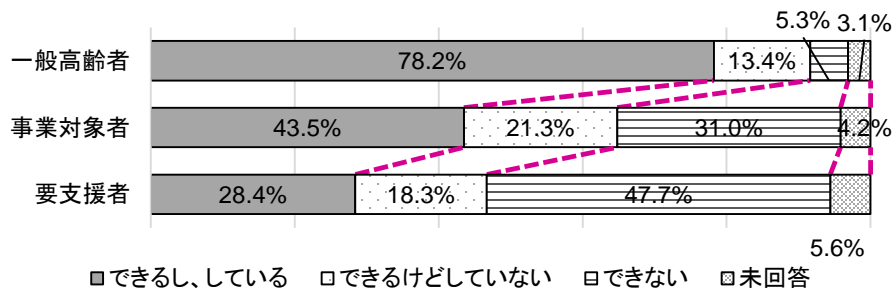
- 「若宮・城東・中川」「文京・南部」「永明」「城南」「大胡」において、IADLが低い方が多い。
- 「粕川」は認知機能リスクは高い傾向であったが、IADLが低い人が少ない。

#### ◆◆IADLが低い高齢者の割合(%)

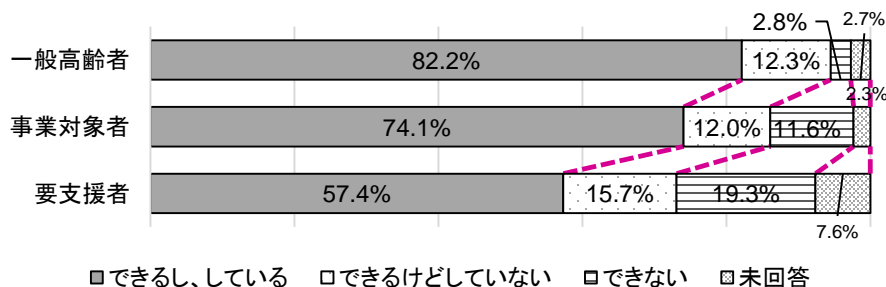
※14～16ページの設問中、3つ以上「できるけどしていない」もしくは「できない」を選んだものをIADLが低下してきているとして集計



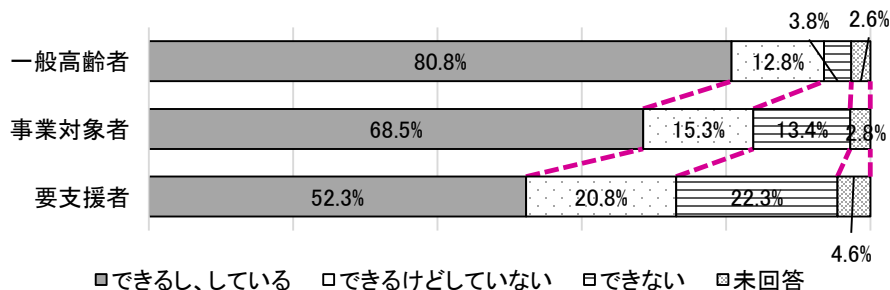
#### ◆◆バスや電車を使って1人で外出していますか



#### ◆◆自分で請求書の支払いをしていますか



#### ◆◆自分で預貯金の出し入れをしているか

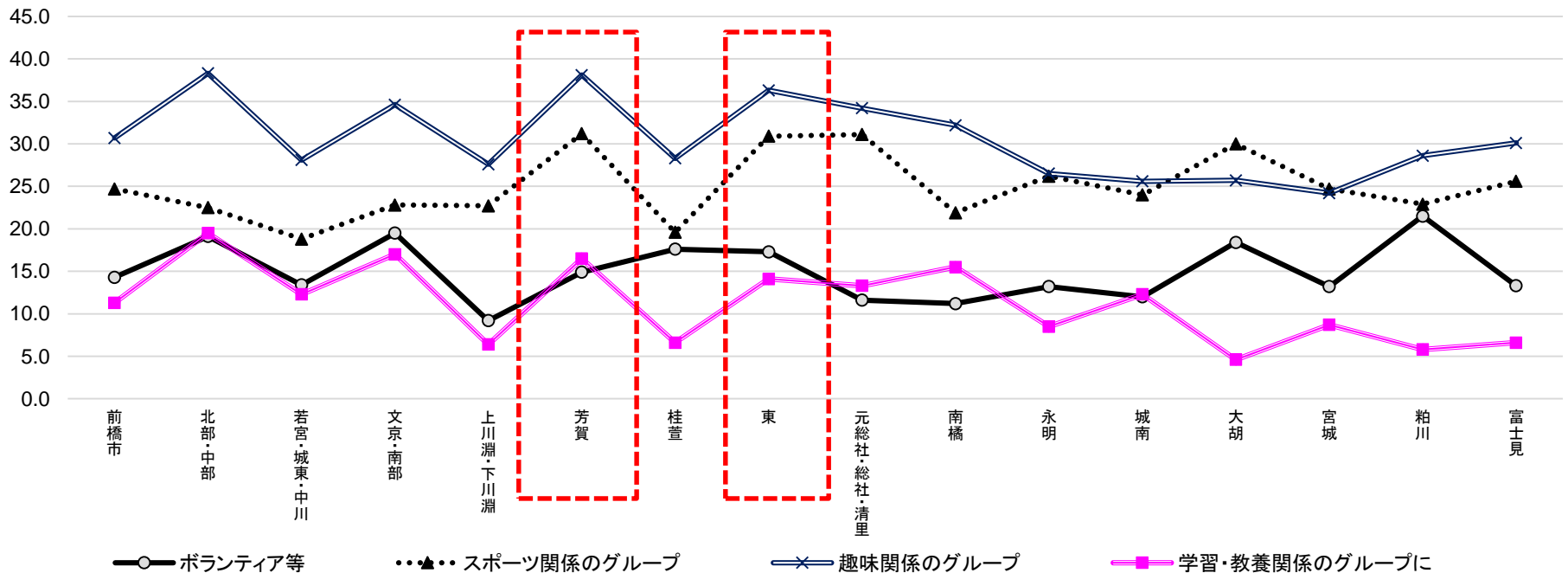


## 地域での活動について

### ■ グループ等への参加状況

- スポーツや趣味のグループへの参加割合と比較すると、ボランティア、学習・教養のグループへの参加は低い傾向である
- 「上川淵・下川淵」は、ボランティア活動に参加している割合が低いが、下川淵は介護予防サポーターの活動者数が1番多い地域である。グループとしての活動への参加状況を測る設問のため、個人でのボランティア活動の参加状況と一致していないと想定される。
- 「芳賀」「東」は、様々な種類のグループ活動に参加する割合が高い。

■ 地域での活動に参加している高齢者の割合(%)



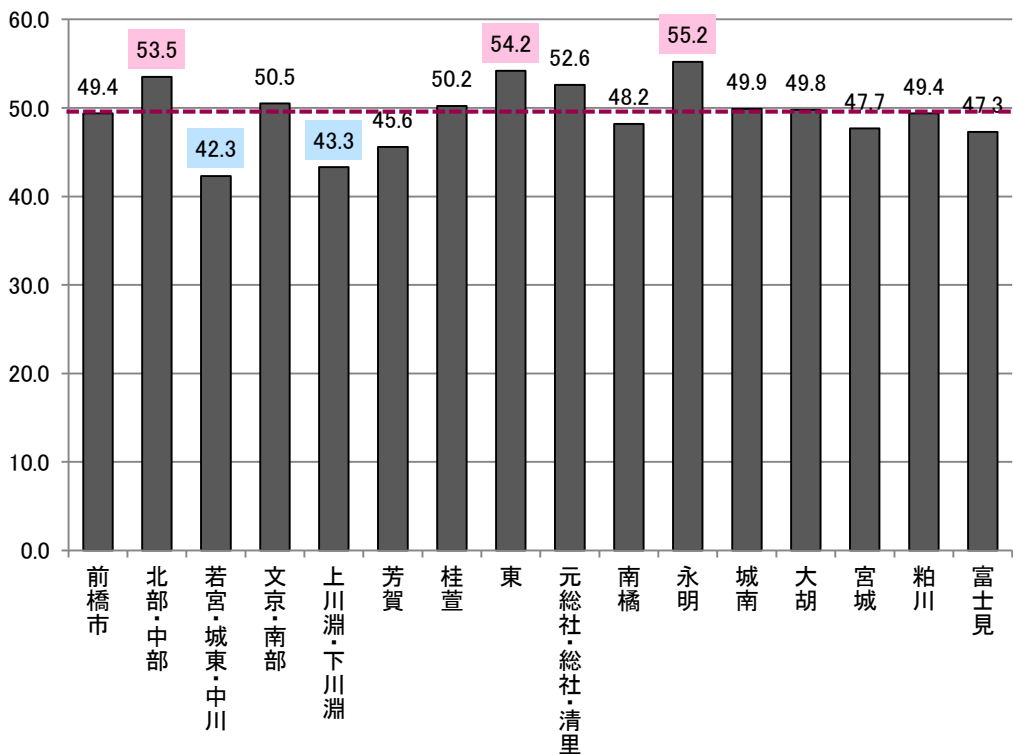
# ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

## 地域での活動について

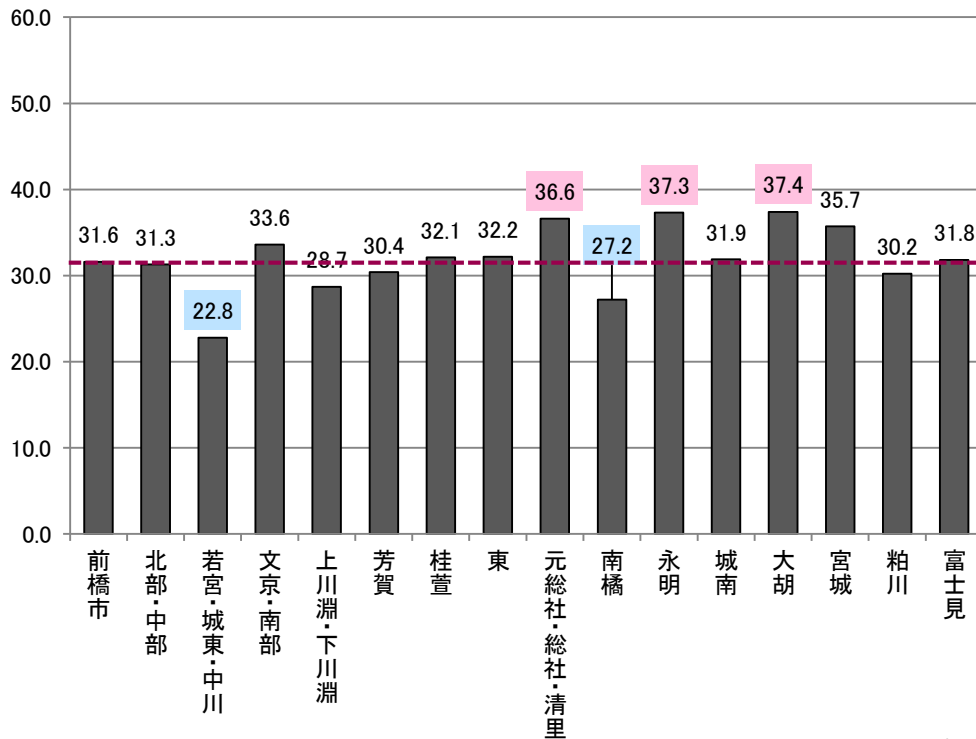
### ■ 地域づくりへの参加

- 地域づくりを進めることについては、どの地区も50%前後の方は参加意向があるが、企画・運営（お世話役）としての参加意向は、地域差が出る。
- 「若宮・城東・中川」と「南橋」は、企画・運営としての参加意向が低い。

■ 地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合 (%)



■ 地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向のある高齢者の割合 (%)



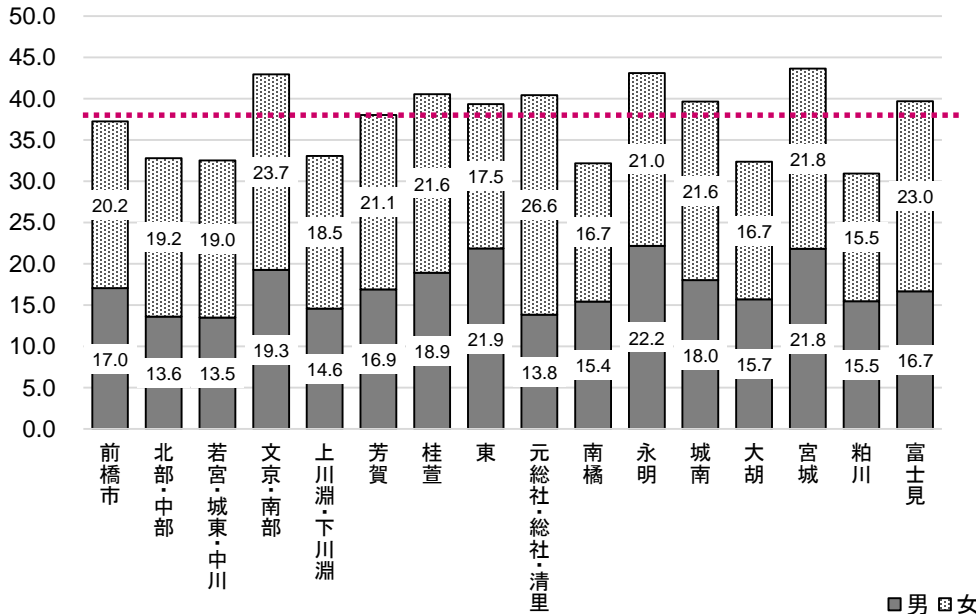
# ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

## 地域での活動について

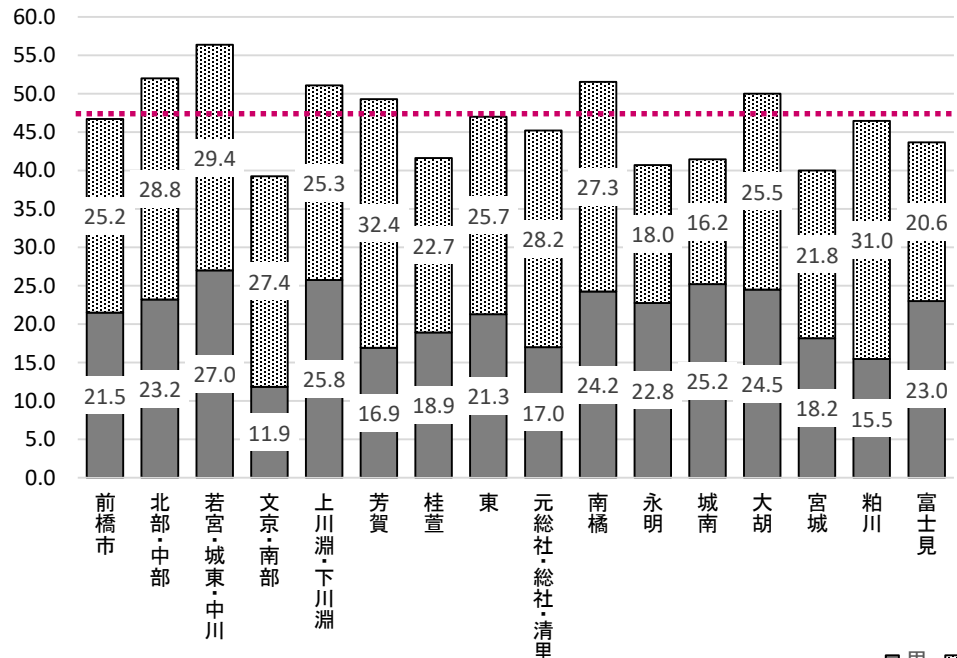
### ■ 地域や施設でのボランティア活動やささえあいの活動

- 「是非参加したい」「参加してもよい」と答えた割合43%を超えるのは、「文京・南部」「永明」「宮城」であり、「文京・南部」と「宮城」においては、「既に参加している」と回答した割合も10%前後で高い。
- 「参加したくない」と答えた割合が50%を超えた「北部・中部」「若宮・城東・中川」「上川淵・下川淵」「南橘」であるが、「北部・中部」は、「既に参加している」と回答した割合が10%を超えているが、それ以外の3圏域は6%前後の低い割合であった。

■ 地域や施設でのボランティア活動やささえあいの活動に「是非参加したい」「参加してもよい」と答えた割合(%)



■ 地域や施設でのボランティア活動やささえあいの活動に参加してみたいと思いますか「参加したくない」と答えた人の割合



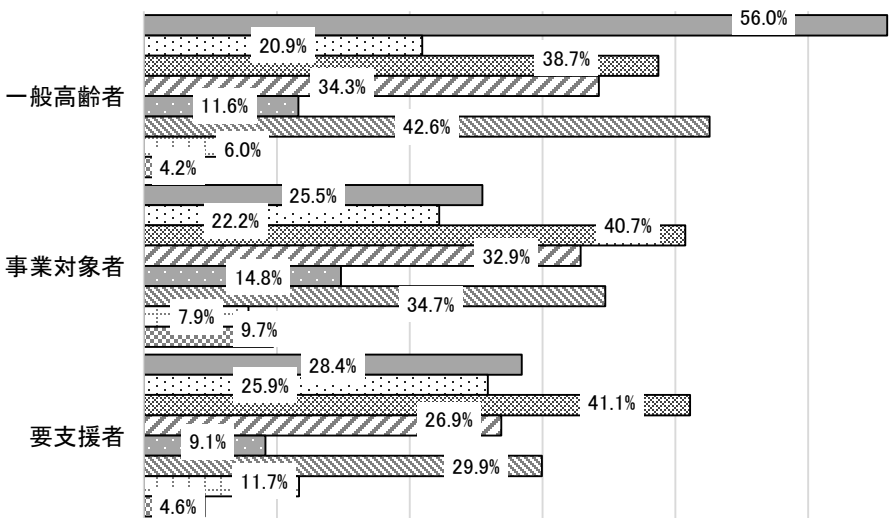
# ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

## たすけあいについて

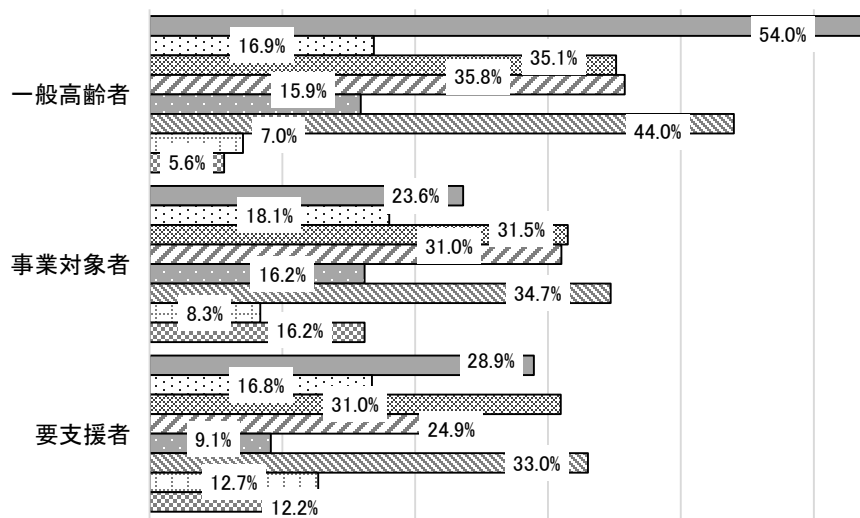
### ■ 情緒的サポート

- 圏域ごとの差は大きくないが、一般の方は、配偶者や友人がサポート相手になる場合が多い。
- 事業対象者、要支援者になると、配偶者がサポート相手になる場合が一般の方の半分程度であり、子どもが心配事等を聞いてくれる割合が多くなる。
- 心配事等を聞いてあげる人は、事業対象者、要支援者ともに、一般の方に比べ「そのような人はいない」の割合が多くなる。

■ あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)



■ 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)



□ 配偶者                      □ 同居の子ども                      □ 別居の子ども  
 □ 兄弟姉妹・親戚・親・孫・近隣                      □ 友人  
 □ その他                      □ そのような人はいない

□ 配偶者                      □ 同居の子ども                      □ 別居の子ども  
 □ 兄弟姉妹・親戚・親・孫・近隣                      □ 友人  
 □ その他                      □ そのような人はいない

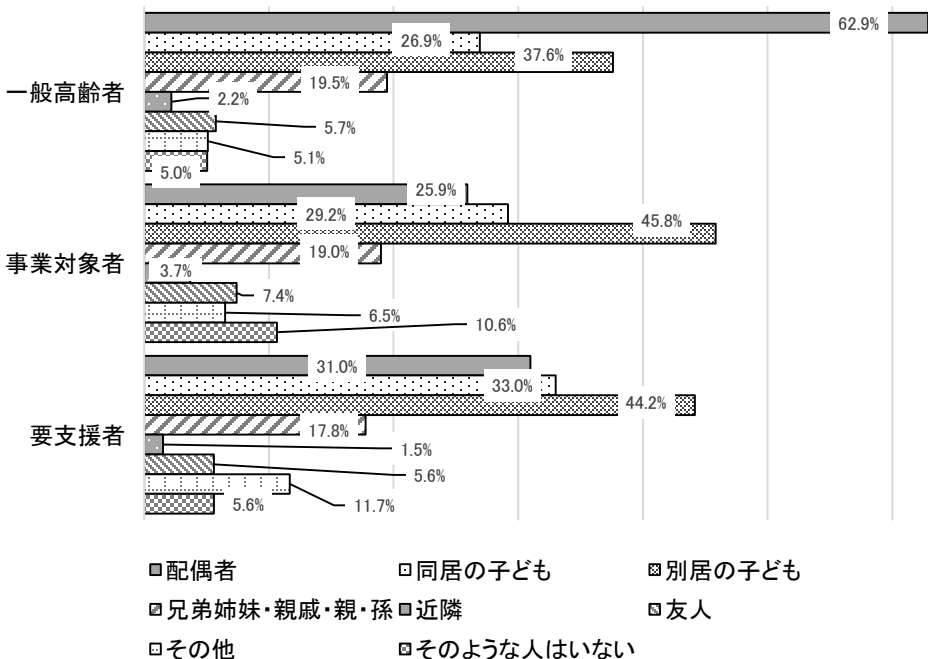
# ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

## たすけあいについて

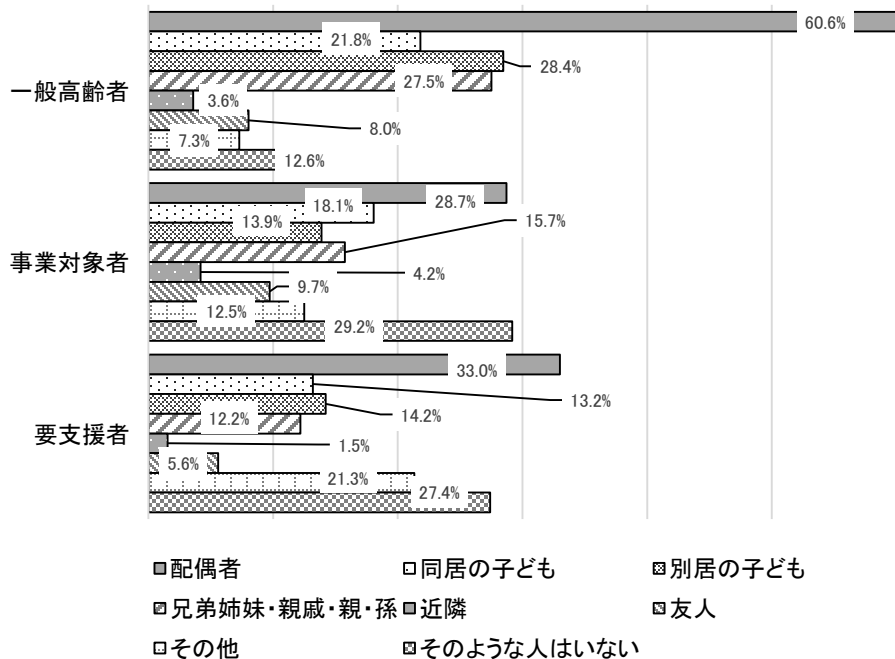
### ■ 手段的サポート

- 圏域ごとの差は大きくはないが、病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人に「そのような人はいない」と回答した割合は、「若宮・城東・中川」のみ10%を超えているが、1人暮らし世帯が多いためと想定される。
- 看病や世話をしてくれる、または、してあげる人は、一般の方では配偶者の占める割合が大きいですが、事業対象者と要支援者では、その半分ほどである。
- 看病や世話をしてあげる人は、事業対象者と要支援者では、30%弱が「そのような人はいない」と回答している。

■あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)



■反対に、看病や世話をしてあげる人(いくつでも)

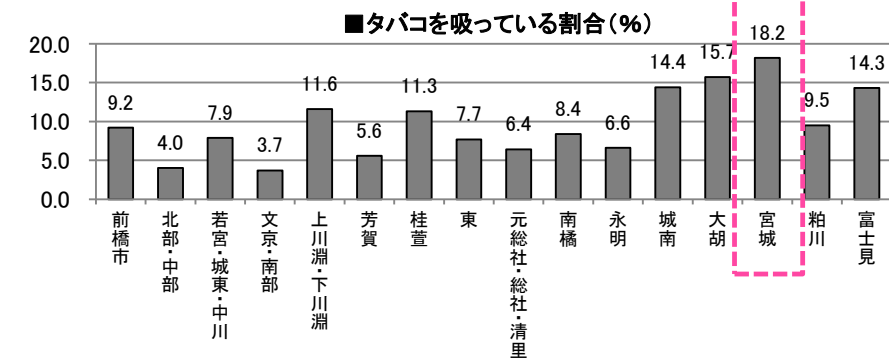
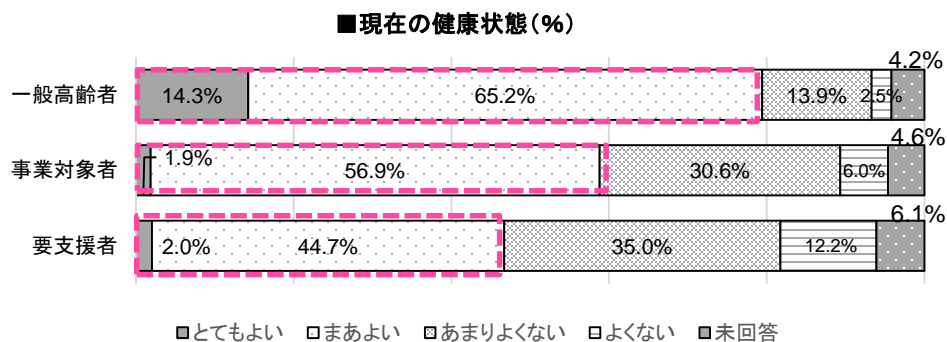


# ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

## 健康について

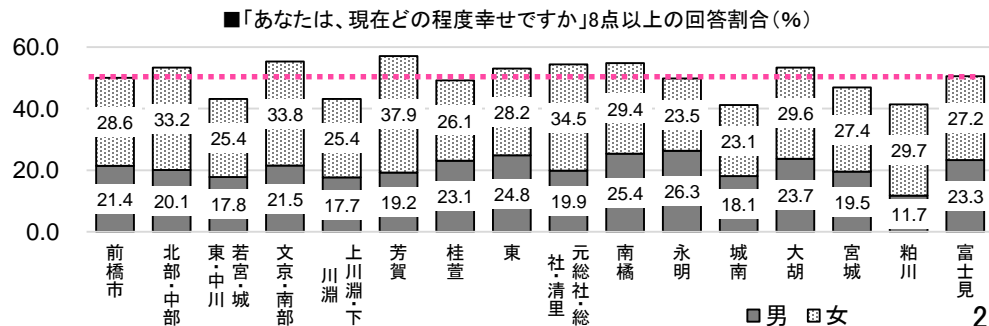
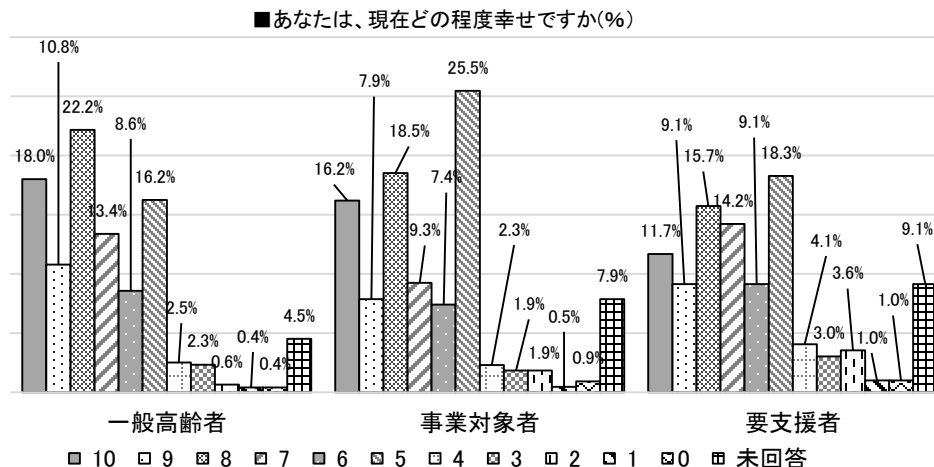
### ■主観的健康観

- 一般の80%弱の方が主観的に健康と感じているのに対して、事業対象者は60%弱、要支援者は45%強となっている。
- 主観的健康観に、圏域別な大きな特徴の差はないが、喫煙習慣については、圏域別に特徴が見られ、「宮城」が突出している。



### ■主観的幸福感

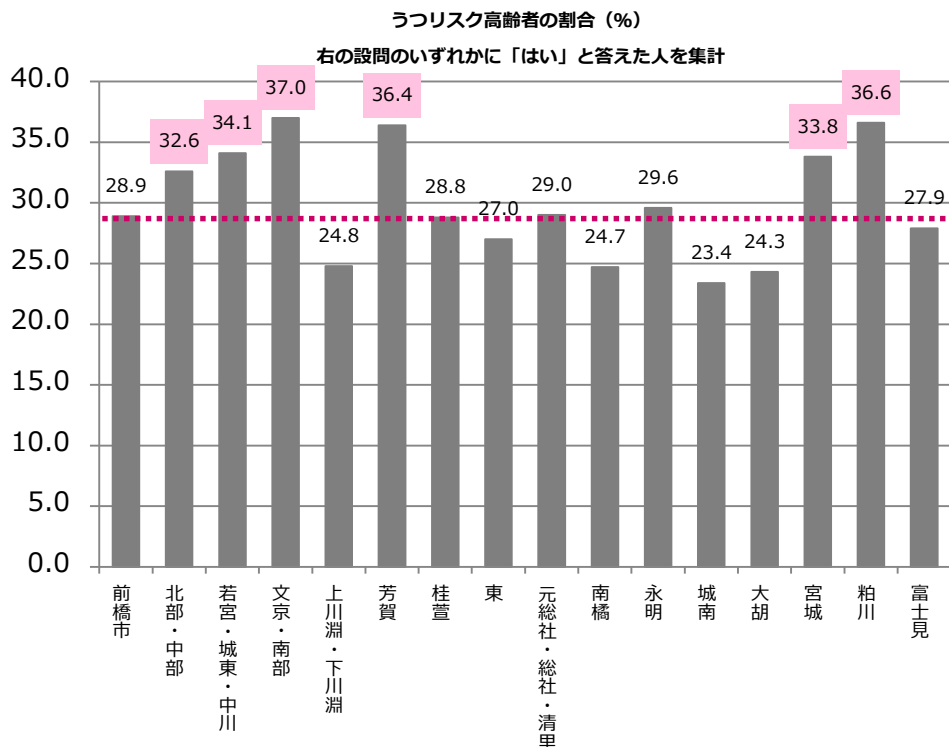
- 一般高齢者の90%弱は5点以上であるが、その割合は、事業対象者、要支援者と順に低くなる。
- 市全域で50%の方が8点以上を回答しているが、「若宮・城東・中川」「上川淵・下川淵」「城南」「粕川」の4圏域は、他圏域と比較し低い。



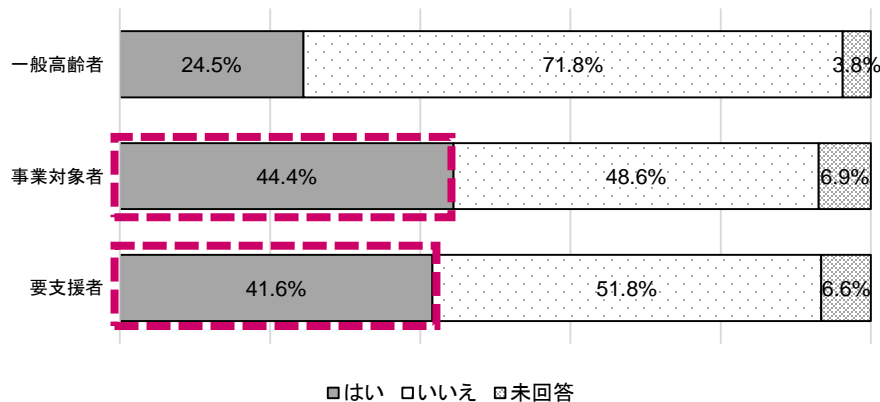
# 健康について

## ■うつ傾向

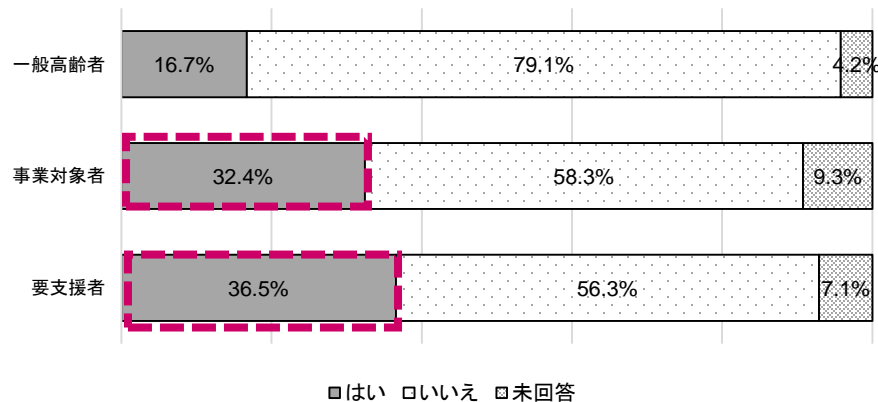
- 一般の方よりも、事業対象者や要支援者の方がうつになるリスクが高い。
- うつリスク高齢者の割合が30%以上は、6地区ある。



■この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか



■この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか





# ①介護予防・日常生活圏域二一ス調査

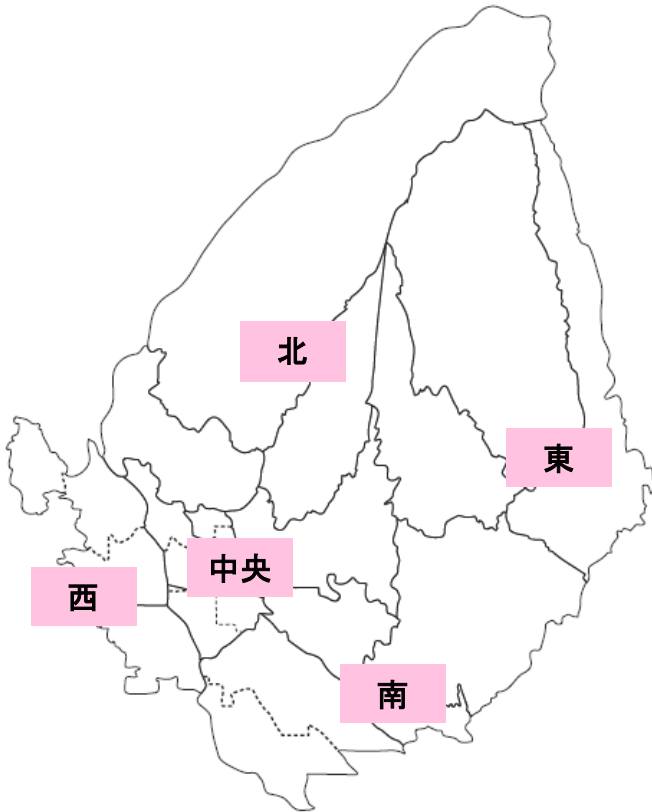
## まとめ①

単位：%

	世帯構成			経済的 苦しい 状況が	介護を 受けて いる	介護は 必要だ が、 未利 用	運 動 器 機 能	転 倒 リ ス ク	閉 じ こ も り	栄 養 改 善 リ ス ク	咀 嚼 機 能 リ ス ク	認 知 機 能 リ ス ク	で 買 い な い が	食 事 の 用 意 が	低 い A D L が	グループ活動への参加状況				
	単 身	夫 婦 の み	そ の 他													ボ ラ ン テ ィ ア	ス ポ ー ツ	趣 味	学 習 ・ 教 養	
前橋市全体	19.6	41.8	38.6	29.6	9.6	10.3	14.2	29.3	16.8	14.5	25.9	43.2	4.3	7.2	6.4	14.3	24.7	30.7	11.3	
中央	1 北部・中部	24.8	44.0	31.2	29.6	7.2	13.6	15.5	32.1	17.8	22.8	41.6	4.4	8.8	6.6	19.1	22.5	38.3	19.5	
	2 若宮・城東・中川	29.4	43.7	27.0	30.9	7.9	17.5	26.4	32.4	14.8	25.7	40.5	6.2	10.3	9.2	13.4	18.8	28.1	12.3	
	3 文京・南部	19.3	40.0	40.7	27.4	9.6	7.4	13.0	32.7	11.2	7.4	31.4	42.2	5.7	6.7	8.9	19.5	22.8	34.6	17.0
南	4 上川淵・下川淵	22.7	37.7	39.5	33.5	7.3	9.4	12.5	29.9	16.8	9.1	26.6	40.8	4.9	7.7	6.4	9.2	22.7	27.6	6.4
	10 永明	17.4	42.5	40.2	27.6	13.2	10.2	16.4	35.4	20.5	14.1	25.1	46.1	4.8	6.0	8.5	13.2	26.2	26.5	8.5
	11 城南	14.4	43.2	42.3	27.0	7.2	11.7	14.1	29.6	22.3	14.9	27.8	42.3	4.1	10.8	8.8	12.0	24.0	25.6	12.3
北	5 芳賀	22.5	40.8	36.6	33.8	7.0	12.7	12.4	29.5	19.9	13.5	26.6	49.3	4.5	8.5	5.5	14.9	31.2	38.1	16.5
	9 南橋	19.8	39.7	40.5	25.9	10.1	7.0	11.1	28.7	15.5	19.6	26.2	41.9	4.9	7.9	4.8	11.2	21.9	32.2	15.5
	15 富士見	14.3	47.6	38.1	38.9	10.3	9.5	16.4	26.8	18.2	12.4	25.3	39.7	4.3	8.7	5.4	13.3	25.6	30.1	6.6
東	6 桂萱	16.8	38.4	44.9	31.3	9.7	10.3	11.0	24.3	19.4	11.6	26.7	45.4	5.1	5.4	6.9	17.6	19.6	28.3	6.6
	12 大胡	13.7	45.1	41.1	31.4	8.8	12.7	18.3	29.9	11.7	18.5	26.9	45.1	2.5	4.9	7.1	18.4	30.0	25.7	4.6
	13 宮城	14.5	23.6	61.9	30.9	12.7	9.1	12.1	32.9	23.5	13.4	34.4	45.5	2.3	7.3	4.7	13.2	24.7	24.2	8.7
	14 粕川	16.7	34.6	48.8	34.5	14.3	8.3	10.0	22.6	10.2	14.0	26.8	51.2	3.5	7.1	2.4	21.5	22.9	28.6	5.8
西	7 東	22.4	51.9	25.7	21.3	10.9	9.3	14.0	30.3	13.1	19.0	21.0	41.0	2.7	4.4	3.3	17.3	30.9	36.3	14.1
	8 元総社・総社・清里	19.7	43.1	37.2	27.1	9.0	10.6	11.8	24.3	14.4	15.6	22.8	44.7	3.9	5.9	5.1	11.6	31.1	34.2	13.3

# ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

## まとめ②



ブロック/日常生活圏域	現状・ニーズ
<b>中央ブロック</b> 01・北部・中部 02・若宮・城東・中川 03・文京・南部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単身世帯の割合が高く、介護が必要でも、サービスの利用に結びついていない割合が高いため、単身世帯等への生活支援の強化が必要である。</li> <li>・IADLが低い、認知機能のリスクは低い傾向がある。</li> </ul>
<b>南ブロック</b> 04・上川淵・下川淵 10・永明 11・城南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IADLが低い圏域もあるが、単身世帯の割合は低い傾向であるので、現状は困っていない方が多いと想定される。</li> <li>・グループ活動での参加状況は低く、転倒リスク・閉じこもりリスクは高いので、グループ活動への参加希望はあるが参加していない方の参加を促し、介護予防活動につなげていくことが必要である。</li> </ul>
<b>北ブロック</b> 05・芳賀 09・南橋 15・富士見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的に苦しい方の割合が高い。</li> <li>・ボランティア以外のグループ活動への参加割合は高い傾向があるので、それらの活動を通じ介護予防活動へつなげていくことが必要である。</li> </ul>
<b>東ブロック</b> 06・桂萱 12・大胡 13・宮城 14・粕川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単身世帯の割合が低く、IADLが低くても現状は困っていない方が多いと想定される。</li> <li>・ブロック全体で、認知機能リスクが高い傾向である。また、ボランティア以外のグループ活動の参加率が低い傾向があるので、グループ活動の支援を通じ、介護予防を進めていく必要がある。</li> </ul>
<b>西ブロック</b> 07・東 08・元総社・総社・清里	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夫婦のみの世帯が多く、グループ活動への参加割合が高いため、介護予防活動やささえ合い活動を進めることが期待される。</li> </ul>